在宅療養者の服薬管理に関する課題解決のための具体的提案について

参考資料2

課題

（具体的な事象）

1	**薬剤情報を一元管理できない** 【情報共有、一元化】 【患者・家族の理解、市民啓発】	・同効薬の重複投与 ・併用禁忌薬の投与 ・不要な薬の継続投与
2	**在宅療養者の服薬管理不良を早期に発見できない** 【関係機関連携、服薬支援】 【支援者への啓発】	（飲みすぎにより） ・薬の不足 ・中毒・副作用が生じる （飲めなくなることにより） ・多量の残薬が生じる ・病状悪化
3	**服薬を支援する支援者同士の連携・情報共有が不十分** 【情報の一元化】 【関係機関連携、服薬支援体制】	・スムーズな支援が行えない
4	**残薬調整されずに処方が継続** 【患者・家族の理解、市民啓発】 【関係機関連携、服薬支援体制】	・多量の残薬 ・服用の効果が無いと判断され、医師の処方薬が増量

解決策の具体的提案例

- 情報を一元管理する仕組みづくりとツールの活用・見直し
- かかりつけ薬局の推進
- 服薬管理に関する知識の普及（介護関係者）
- 関係機関の役割と相談・対応方法の共有化
- 関係者者同士が情報共有する方法の確立
- 残薬調整に対する啓発（関係者、市民）
- （薬局による）医師への処方調整の相談

情報共有ツールに関すること

- お薬手帳の関係者間共有の徹底、様式等の工夫・見直し
  - ・再交付時の記入の簡素化の工夫
  - ・関係者記入欄等の充実
  - ・薬局への携行の徹底（市民向け）
- 電子お薬手帳の更なる普及
  - ・薬局・医療機関での対応端末の普及促進
  - ・市民への普及・啓発
  - ・電子お薬手帳の機能拡張 （ICTの活用）
- 情報提供書の活用
  - ・薬剤情報に特化した情報共有ツールの作成
  - ・病院間、病院と薬局間等による活用
  - ・診療情報提供書等の既存ツール活用の拡大

関係者の連携に関すること

- 服薬管理に関する役割シート、相談・対応フロー図（関係者向け）の作成と共有
  - ・手引き書の作成
- 高齢者の服薬管理不良を共有するためのアセスメントツールの作成
  - ・医師や薬局等に相談・報告が必要な場合を理解するための資料の作成
- かかりつけ薬局の推進
  - ・関係者向けかかりつけ薬局の選び方フローチャートの作成や（既存）リストの広報・提供の工夫等
  - ・市民向けリーフレットの作成、市民や関係者向けにセミナーやシンポジウムの開催
- 服薬管理支援に関する研修（関係者向け）・テキストの共有（冊子・タブレット版）
  - ・薬に関する一般的な知識
  - ・相談・報告が必要となる高齢者の状況
  - ・服薬管理に関わる多職種の役割
  - ・高齢者の服薬管理不良の現状について
- 残薬調整に関する啓発と実践（市民・関係者向け）
  - ・かかりつけ薬局と関係機関との連携による実践の取り組みを推進
  - ・市民・関係者向けリーフレット作成
  - ・関係者向けの研修

市民や関係者への普及・啓発に関すること